

What makes you different?

片桐英数塾通信

君は君だけの君になれ!

さて二月。受験もいよいよ本番です。高三生、補習科生、中三生の緊張感が肌を刺すようにこちらまで伝わってきます。刺激的な二月が始まります。

毎年、卒業生を見送る者として思うのですが、新年が明け、緊張が高まるこの時期から春が来るまでの間に、まるで化学変化でも起こしたように、見違えるように急成長するのが受験生です。不謹慎ながら、その成長が今年も見られそうで、楽しみです。

安穩とした刺激もない状態では人は成長せず、ドキドキするようないやうな緊張感がないと思ってしまうような緊張の中でのみ、人は成長できるでしょう。「無茶を言うな」

と云われるでしょうが、この緊張の中でも試験を楽しんでください。出題者や筆者と語り合ってください。結局、試験を楽しむことが合格の最大の秘訣だと思います。ご検討をお祈り致します。

年初早々、新聞に教育のことがとても大きく取り扱われていました。教育に関する多くのことが変わっていきそうです。それと去年の十月くらいに耳にしたのですが、五年後くらいを目途にセンター試験を見直し、廃止するかもしれないという方針で協議を始めたようです。それにしても、これまで疑うこともなく当たり

前に思っていたものが、次から次へと見直され始めています。二〇年前と今を比べると、信じられないほどの世の中は変わりました。ここ五年間だけでも驚くほど変わっています。変化は加速するように速くなっています。価値観すらもかなり変わったように思えます。昔は、みんな日本国内だけでずっと生活できるとしか考えてなかったと思います(もちろん例外の方もいらっしゃいます)。ところが、今では、国外でも通用するだけの力がなければならぬと考える人が増えてきています。国内だけでは未来への選択肢が狭くなりつつあります。



年納め学習会 開催!

高3生が大海日に坂本教室に集結! 意欲的に受験勉強に励みました。
「それぞれの夢・目標に向かって頑張ろう!」
受験を制して良い年にするぞ!!

国内だけでなく国外すらも視野に入れて将来を見据えなければならぬこれからの時代を考える時、私の頭の中には、高度経済成長期のソニーとホンダが現れます。なぜなら、両社とも戦後に生まれた若い企業ながら、日本の先頭に立ち、世界に対し、堂々と渡り合っていたからです。いずれにも共通するのは、「違い」を大切にしていたことです。「人と同じことは絶対にしない」とたえ人の考えが立派なものでも、自分の頭で考えたものでなければ納得しない」というようなところは完全に共通しているように思えます。それはどこか不器用ですが、気持ちがよいほど硬派です。「違い」を求める不器用

なまでに一生懸命な姿勢が、成功を生み出し、世界からの賞賛を勝ち得たのだと思います。アップルのスティーブジョブズ氏も「違い」を大切にしていたと思います。何より分かりやすいのは、1997年のキャンペーンのスローガンは「Think different」です。文法上、「think」の目的語が形容詞の「different」ではおかしいともめたそうですが、それでもやはり「different」でなければならぬというところで決まりました。それだけ「different」にこだわりを持っていたのでしょう。私は、「この「different」が、これからの重要なキーの一つになるように思います。まわりの人と同じであることが安心であり美徳だと考えることもありますが、国外に出て世界に向かおうとするならば、他者とは違う、自分だけの自分になることが求められると思います。

では「different」になるためにはどうすれば良いのでしょうか。それには、何事も自分の頭で考えることがまずは必要だと思います。その考えたものは間違えていてもかまいません。そして自分の考えに従って行動してみよう。違っていたら修正し、合っていたらより工夫して、自分が主体となって自分を動かします。答えがない問題でも「これだ」とはいけません。とありあえずの答えを出し行動してみることです。「みんなやっているから」と言っても、自分で考えることもせず他人の考えをそのまま受け入れてはいけません。絶対に自分で考える。これが大切です。

自分では考えるとは言え、何でも良いから、ただやみくもに考えるのではなく、論理的に考えなければなりません。しかし、いくら論理的に考えたからと言っても間違えていることもあり、間違えているかもしれない。間違っていても、それを行動に移すには勇気が要ります。スティーブジョブズ氏がスタンフォード大学のスピーチの中で言っていたのですが、行動する勇気を出すには「自分がやっていることが未来に繋がっていると信じる」しかありません。信じるためには、「直感であれ運命であれ人生であれカルマであれ、自分の信じる何かを持つことだ」というようなことも言っています。自分の内側には何か信じるものを持つことは大切なことだと思っています。今、特に高校生には考えてもらいたい。自分の頭で一生懸命考えてもらいたい。未来に向かうために、自分は今、何をしなければならぬのか。そして、その行動はできているのか。まだ分からないから動けないという人もいます。分らないから動けないのではなく、いつまで経っても動けません。動いてみなければ始まらないのだから。

受講生募集! 小学6年生特別講座

君たちの可能性は無限大!! 『わからないことがわかった!!』
『できなかったことができるようになった!!』それが少しずつ積み重なって、大きな夢が実現できます。『わかった』と『できた』をたくさん経験すれば勉強が楽しくなってきます。その学習習慣を今から一緒に身につけていきましょう!! 毎週土曜日(月4回) 14:00~16:00
お問い合わせは坂本教室まで!

片桐英数塾からのお知らせ

坂本教室の2月のお休みは、
2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)です。
お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内の安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。
HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>
メールアドレス katagirijuku@docomo.ne.jp

受験生のみならず
いよいよ受験本番
です! 体調管理に
十分注意し、万全の
体調で受験に臨み
ましょう!!

中3生冬期特別講習を終えて

弱点分野や苦手分野の早期克服をするともに、「学習の診断」「高校入試」対策として実践演習を行いました。参加した中3生の感想を一部紹介します。

- 冬休み、ほとんど毎日あったので、受験生ということを実感できました。この調子で最後まで頑張りたいです。(B. Mさん)
- 数学が難しくて全然できなかったけど、後から先生の解説を聞いたり、復習したりして分かるようになりました。たくさん難しい問題にチャレンジできる良い機会でした。冬期講習のおかげで、数学の苦手が少し減ったと思います。(O. Yさん)
- 英語のプリントで、診断向けの問題に慣れることができた。(I. Sさん)
- 応用問題が多くて大変でしたが、分からないところは説明を聞けば理解することができました。実際に入試に出そうな問題だったので、もらったプリント類は今からちゃんと復習し、入試ではできるようにしたいです。(O. Sさん)
- 初めての冬期講習は長かったけど、苦手なところを復習できたり、入試対策の応用問題を解くことができてとても良かったです。できなかった問題が解けるようになってすごく嬉しかったです。(B. Yさん)
- テストを何回もやったので、問題を速く解く力がついたと思います。家でもいろいろな問題に挑戦しようと思います。(B. Mさん)
- これからある学習の診断や受験に、すごく大きな影響を与えてくれるような、とても有意義な時間になったと思っています。(Y. Tさん)
- すごく充実した冬休みになりました。テスト慣れしたように思います。(K. Yさん)

間違えていても良いからとにかく自分で考えてみて、動いてみてくたさい。
高校生、中学生にとって、今は「different」になるための訓練期間のようなものだと思います。考える力、行動する力、信じる力は、考えた量、知識の量、経験の量、苦労の量によると思います。自分だけの自分を求めて、未来に向かって欲しいと思います。

